

研究のために、あなたのカルテの情報を使用させて頂いております

◎対象となる患者さん:梅毒検査で陽性と判定された方

1. 研究の題名『梅毒治療による Treponema Pallidum 抗体(TP 抗体)の推移』

＜研究期間＞ 令和8(2026)年2月20日～令和12(2030)年3月31日

2. 利用目的 及び 利用方法

＜利用目的＞

当院では性感染症である梅毒の検査として TP 抗体と Rapid Plasma Reagin(RPR)を測定しています。

梅毒検査で陽性と判定された方が治療を行う場合、RPR 値で治療効果の判断を行っており、RPR 値が治療前の概ね 2 分の 1 に低減していれば治癒と判定しています。

また、TP 抗体値も治療により下がりますが、どの程度下がれば治癒とみなせるかという文献はまだありません。

今回、RPR 値によって治癒と判断された症例における TP 抗体の変化を解析し、診療に活用できるかを検証するため、以下の情報を使用させていただきます。

＜利用方法＞ 利用 ・ 提供

3. 以下の期間に上記(◎対象となる患者さん)を満たした方が対象です

＜対象期間＞ 令和2(2020)年4月16日～令和12(2030)年3月31日

4. 本研究で利用する試料・情報について

本研究に関して診療記録から 以下の情報を取得します。

梅毒検査(RPR、TP 抗体)のデータ、年齢・性別、治療の有無、治療に使用した薬剤、現病歴、既往歴

5. 利用する者の範囲

取得した情報は、飯塚病院の下記研究代表者 及び 研究分担者において使用します。

6. 情報の管理の責任者について

この研究の責任者は以下の者です。研究の成果を学会や論文等で発表する際には名前等を番号や記号に置き換え個人が特定できない様に行います。また、この研究にあたり個人情報の漏洩等がないよう取得した情報等を管理し、患者さんに不利益がない様に責任を持ちます。

＜診療科名または部署名＞ 中央検査部

＜研究代表者名＞ 岡 綾菜

7. 試料・情報の利用 及び 他の研究機関への提供の停止を希望する患者さんまたはそのご家族等の方へ

この研究にああなたの情報が使用されることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、ご遠慮なく下記の連絡先までご連絡ください。お申し出頂いても、患者さんやご家族が不利益を被ることは一切ございませんので、どうぞご安心ください。また、この研究に関する計画書を、研究に支障のない範囲で閲覧することができます。その場合も下記連絡先までご連絡下さい。

＜連絡先＞ 株式会社麻生 飯塚病院 0948-22-3800 (代表)

＜担当者＞ 岡 綾菜

＜内 線＞ 5255